



講師
水谷 もりひと氏
みやざき中央新聞編集長

第22回
いのちの
講演会

昭和34年生まれ。明治学院大学卒。
学生時代に東京都内の大学生と『国際文化新聞』
を創刊し、初代編集長となる。
平成元年にUターン。
宮崎中央新聞社に入社し、平成4年に経営者から
譲り受け、編集長となる。
20年間社説を書き続け、現在も魂の編集長として、
心を揺るがす社説を発信中。

小さな 生命を 守るために

11/13
2016.sunday

pm2:00~4:00(pm1:30受付)
石川県文教会館 ホール

Tel(076)262-7311 金沢市尾山町10-5
JR金沢駅より香林坊方面行バス(南町下車、徒歩2分)
※駐車場スペースがございません。公共交通機関をご利用ください。

チケット 一般1,000円(当日1,200円)
学生 500円(中学生以上 当日500円)

お問い合わせ Tel /Fax (076)242-4576(藤本)
E-Mail embryo_isikawa@yahoo.co.jp

前売りチケット 香林坊大和プレイガイド
イオン松任店サービスカウンター
でもお求めになれます

託児あずかり 定員になり次第、締め切らせていただきます
(事前にお申し込みください) 保険料300円

～お腹の赤ちゃんとお母さんを
温かく迎える町づくりへ～

授かるいのち
つなぐよろこび!

主催/円ブリオ石川

後援/石川県・金沢市・白山市・野々市市・小松市・加賀市・かほく市・金沢市教育委員会・白山市教育委員会・小松市教育委員会・野々市市教育委員会・かほく市教育委員会・加賀市教育委員会・内灘町教育委員会・公益財団法人いしかわ結婚・子育て支援財団・社会福祉法人石川県社会福祉協議会・社会福祉法人金沢市社会福祉協議会・石川県PTA連合会・金沢市PTA協議会・一般社団法人石川県私立幼稚園協会・全国PHP友の会・公益社団法人石川県看護協会・国際ソロプチミスト金沢・有限会社北陸家庭教師会・北國新聞社・読売新聞社北陸支社・テレビ金沢・エフエム石川・ラジオかなざわ・ラジオこまつ・ラジオななほ・石川テレビ放送・生命尊重センター・NPO法人円ブリオ基金センター

お腹の赤ちゃんとお母さんを温かく迎える町づくりへ!

ちい～さな いのちの始まりに エールをおくる 石川!
だれもが通ってきた お母さんのお腹の道! 守られて 今 わたしがいます。



うちにとどく赤ちゃんが
来てくれるのかな。
小さな子だってこぼ。
待てるよーになんて
よるよる抱っこする目だ。
水谷もひと

あなたの1円でお腹の赤ちゃんを応援しよう!

ひと口・1円 円ブリオ基金

皆様の
善意の1円で **全国530名** (H28/5月現在) **の赤ちゃんが** 誕生しました。



小さな生命を大切に 七月十三日を「生命尊重の日」に

昭和二十三年七月十三日、母体保護法(旧・優生保護法)が制定されてから
葬り去られた小さな生命は七千六百万に上るといわれます。
いのちは大自然からの授かりもの。遠い祖先からの大切な贈りもの。
無限の未来と可能性をもつ小さな生命を奪う権利は誰にもありません。
いのちの始まりから、すべてのいのちが大切にされる心豊かな社会へ
私たちは「生命尊重の日」(いのちの日)の制定をめざします。

豊かで平和に見える日本で、虐待による死亡は年間五十件を超え
一週間に一人、小さな子どもが亡くなっています。
また、人工妊娠中絶によって、届け出だけで年間十八万二〇〇〇人
毎日五〇〇人、いたいけななお腹の赤ちゃんの命が失われています。

小さな生命を守り抜いて30年

生命尊重センター 〒100-0016 東京都千代田区玉体町1-15 第一ビル201号
(設立1981年4月) TEL:03-3289-0229 FAX:03-3256-2076 <http://soinela.com/you/>

エンブリオとは、8週までの胎児のこと。8週と
いうと、胎芽から胎児へと呼び方がかわるころ。
身長は4cm、重さは1円玉と同じ1g、心臓はしっ
かりと動き、いつか見るまばゆい光を持ってい
ます。小さな命はサムシンググレートからの贈
りもの。その命を助けるために、円ブリオ基金
は皆様からひと口1円をいただき、出産費用を
サポートしています。

ご家族などで集まりました円ブリオ基金を当日
の講演会にお持ち下さい。新しい募金箱と交換
いたします。



昨年の「第21回いのちの講演会」
には104名の方々から213,453
口もの支援が寄せられました。
(年間377,380口)
ありがとうございます。